

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 イエローインク VJ-MP11INK-YE950
会社名 武藤工業株式会社
住所 〒393-8585 長野県諏訪郡下諏訪町3128
担当部門 品質保証部
電話番号 0266-28-9736
FAX番号 0266-28-7760
整理番号 MSDS-VJMP11INKYE950-01JP
推奨用途及び使用上の制限: 武藤工業株式会社製インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性: 引火性液体 区分4
健康に対する有害性: 急性毒性(経皮) 区分4
発がん性 区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2 (血液 腎臓)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分2 (造血系)
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

シンボル:

注意喚起語:
危険有害性情報:

警告
H227 可燃性液体
H312 皮膚に接触すると有害
H351 発がんのおそれの疑い
H371 血液、腎臓の障害のおそれ
H373 長期又は反復暴露による造血系の障害のおそれ

注意書き

安全対策:

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。(P210)
涼しい所に置くこと。(P235)
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと(P270)
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
保護手袋、保護衣を着用すること。(P280)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

救急措置:

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で優しく洗うこと。(P302+P350)
暴露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。(P308+P313)
暴露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)
気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
特別な処置が必要である。(P322)

保管:

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

廃棄:

換気の良い冷所で保管すること。(P403+P235)
施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3.組成及び成分情報

成分	CAS No.	官報公示整理番号	含有量(wt%)	備考
顔料(ニッケル及びその化合物)	登録済	登録済	1-10 %	【安衛】【PRTR1】
樹脂	登録済	登録済	1-10 %	
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート	112-07-2	(2)-740	35-45 %	
乳酸エチル	687-47-8	(2)-1371	45-55 %	

【安衛】:労働安全衛生法「名称等を通知すべき危険物及び有害物」

【PRTR1】:化学物質排出把握管理促進法「特定第1種指定化学物質」

4.応急措置

- 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。皮膚を速やかに洗浄すること。
- 眼に入った場合: 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。水で数分間注意深く洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5.火災時の措置

- 消火剤: 大火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水
小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤: 棒状注水
- 特有の危険有害性: 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。
可燃性物質: 燃えるが、容易に発火しない。
- 特有の消火方法: 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
- 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置: 関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- 環境に対する注意事項: 環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- 回収・中和: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。
- 封じ込め及び浄化方法・機材: 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。危険でなければ漏れを止める。少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
- 二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項: 火気注意。取扱い後はよく手を洗うこと。飲み込みを避けること。皮膚との接触を避けること。使用前に使用説明書入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。ガスを吸入しないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。排気用の換気を行うこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。
- 接触回避: 「10.安全性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策:

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。

混触危険物質:

「10.安全性及び反応性」を参照。

保管条件:

酸化剤から離して保管する。炎及び熱表面から離して保管すること。冷所、換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

容器包装材料:

消防法で規定されている容器を使用する。消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度:

	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (産衛学会)	ACGIH
C.I.Pigment Yellow 150	0.1mg/m ³ (Niとして)	—	—

設備対策:

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。高熱取扱いで、工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。高熱取扱いで、工程でガスが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。高熱取扱いで、工程でミストが発生するときは、換気装置を設置する。高熱取扱いで、工程でガスが発生するときは、換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具:

必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具:

必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。

眼の保護具:

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具:

適切な顔面用の保護具を着用すること。適切な保護衣を着用すること。

衛生対策:

取扱い後はよく手を洗うこと。

9.物理的及び化学的性質

外観等:	黄色液体	蒸気密度:	データなし
臭い:	溶剤臭	比重(密度):	0.99-1.02g/cm ³ (25°C)
pH:	データなし	水への溶解度:	水に不溶
融点:	データなし	n-オクタノール/水分配係数:	データなし
沸点:	データなし	自然発火温度:	データなし
引火点:	63°C (タグ密閉式)	分解温度:	データなし
爆発範囲:	データなし	VOC:	データなし
蒸気圧:	データなし	蒸発速度:	データなし

10.安定性及び反応性

安定性:

常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性:

水との反応性はない。

避けるべき条件:

高温。

混触危険物質:

酸化物質あるいは酸化剤。

危険有害な分解生成物:

知見なし。

11.有害性情報

急性毒性

経皮:

混合物の急性毒性推定値が1500mg/kgのため、急性毒性(経皮) - 区分4とした。

発がん性:

区分2の成分の濃度が1%以上のため発がん性 - 区分2とした。

特定標的臓器毒性 (単回暴露):

特定標的臓器(単回暴露) - 区分2の成分の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性(単回暴露) - 区分2とした。

特定標的臓器毒性 (反復暴露):

特定標的臓器(反復暴露) - 区分2の成分の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性(反復暴露) - 区分2とした。

12.環境影響情報

環境に対する有害性: 情報なし。
生態毒性: 情報なし。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国内規制
陸上規制情報: 該当しない。
海上規制情報: 該当しない。
国連番号: 該当しない。
海洋汚染物質: 非該当。
航空規制情報: 該当しない。
国連番号: 該当しない。

15.適用法令

労働安全衛生法: 名称等を通知すべき危険物及び有害物「ニッケル及びその化合物」を含有する。
消防法: 危険物 第四類第二石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
化学物質排出把握管理促進法: 特定第1種指定化学物質「ニッケル化合物」を含有する。
ただし、ニッケルとしては含有率0.2%である。

16.その他の情報

- 当インクは武藤工業株式会社製インクジェットプリンターに使用されるものです。他の目的で使用しないでください。記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成されております。しかし、弊社やその他子会社は記載内容の正確性や完全性を保証するものではありません。どんな材質の製品でも適しているかの最終判断はご使用者の責任によるものです。どんな材質でもまだ知られていない危険物質を含んでいることがあり、注意を払って使用されるべきです。ある一定の危険物はここに記載されていますが、それだけが危険であると保証しかねます。
- 「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますので、使用原料の情報変更により本データシートの情報が変更される可能性があります。
- 本データシートは、その製品を代表する値であり、安全や品質の保証、規格ではありません。本製品を取扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。
- 本データシートは日本国内法を基に作成しています。海外に輸出する場合は、外為法や向け先国の化学物質管理法規を確認する必要がありますのでご注意ください。